

共生・公正・創造



# ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合  
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号  
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290  
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

## “テロリストに乘っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』第1回

# 現役最高幹部、命をかけた内部告発！

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。(オンライン有料購読にて入手・・・一部要約抜粋)

<週刊現代2006年7月15日発売号>

### JRは誰のものなのか

数日間にわたった取材の最後、A氏はこう語った。

「JR東日本の資産のほとんどが、旧国鉄から引き継いだものであり、元は国民の財産です。JR東日本という会社が発足できたのも、国鉄の膨大な債務のうち、20兆円を超える額を、国民の皆様が負担してくださったお陰です。

つまりJR東日本は『日本で最も公共性、公益性を帯びた私企業』なんです。その点を歴代の、そして今の経営陣は忘れている。『国民の財産』が革マル派というテロ集団に喰いモノにされ続けている事実を、『一私企業の労使問題』に矮小化することは許されることではありません。

このままでは将来に大きな禍根を残すことは間違いありません。世界最大級を誇る公共交通機関がテロリスト集団に完全に乘っ取られてしまった今、内部から改革するなど望むべくもない。もはやわれわれには、世論、すなわちお客様の声という“外圧”に頼るしかないのです……」

今回、JR東労組並びにJR総連、そして両団体を通じて松崎氏に対する取材を申し込んだが、いずれも「取材には応じられない」とのことだった。一方、「テロリストに支配されている」と現役最高幹部から告発されたJR東日本はこう答えた。

「健全で安定した労使関係は、経営上の重要な課題と認識しています。

それぞれの職場の秩序維持や所属する社員の管理については、会社において日頃から徹底しております。

“革マル派という団体が存在しているということは報道等で承知していますが、その活動内容など詳細は承知していません” (東日本旅客鉄道(株)広報部)

JR東日本が「健全で安定した労使関係」のもとで、「日頃から徹底して」いるという、「職場の秩序維持」とは一体どのようなものなのか。

